

浪ノ上

II

2010年3月

豊橋市教育委員会

豊橋市埋蔵文化財調査報告書第112集

なみ

の

うえ

浪ノ上

豊橋牛川浪ノ上東部土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査報告書

II

2010年3月

豊橋市教育委員会

卷頭図版第1 E区（1）



1、西地区全景（西から）

巻頭図版第2 E区(2)



1、豎穴住居址E-SB19と土壤（北西から）

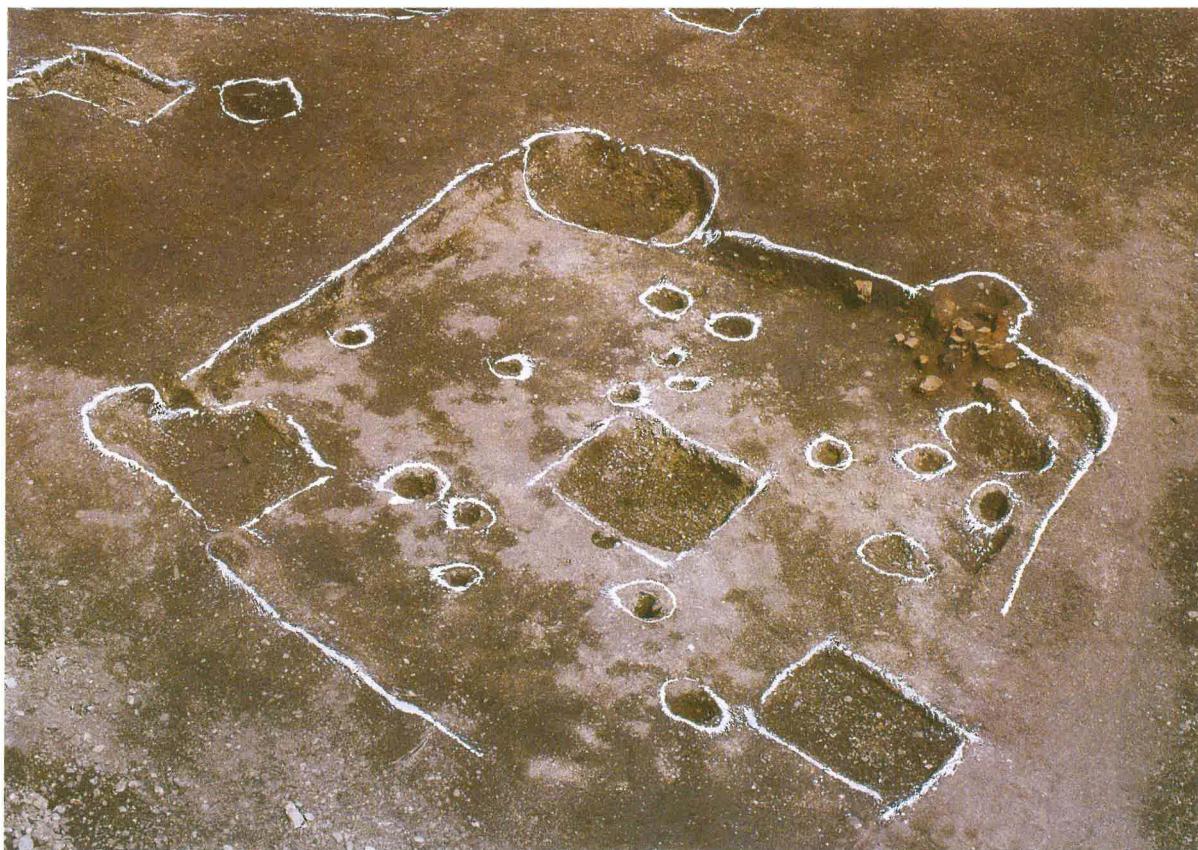


2、豎穴住居址E-SB19と集石遺構（南から）

卷頭図版第3 E区(3)



1、東地区堅穴住居址群と方形周溝墓 E-SZ1、土壙、近世土壙墓（西上空から）



2、堅穴住居址 E-SB10と近世土壙墓 E-SZ30～SZ33（西上空から）

巻頭図版第4 F区



1、F-45-1



2、F-45-1



3、F-45-1



4、F-45-7



5、F-45-4



6、F-75

卷頭図版第5 浪ノ上1号墳（1）



1、浪ノ上1号墳（南上空から）



2、浪ノ上1号墳（南東上空から）

巻頭図版第6 浪ノ上1号墳（2）



1、浪ノ上1号墳封土下N—S B 1（北東から）



2、浪ノ上1号墳封土下N—S B 2（南から）

卷頭図版第7 浪ノ上1号墳（3）



1、浪ノ上1号墳出土広口壺N-146



2、浪ノ上1号墳パレス壺N-125

卷頭図版第8 稲荷山2号墳



1、稻荷山2号墳（南から）



2、稻荷山2号墳I-SZ1（南西から）

例　　言

1、本書は豊橋市牛川町浪ノ上15番地、23～26番地、牛川町字西郷23～26番地、103～111番地において行われた豊橋牛川浪ノ上東部土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の報告書である。

調査は豊橋市教育委員会が豊橋遺跡調査会（代表芳賀陽・日本考古学协会会员）に委託して行った第1次調査と第2次調査、豊橋牛川浪ノ上東部土地区画整理組合（理事長金仙宗樹）が豊橋遺跡調査会に委託して行った第3次調査・第4次調査である。調査期間は下記の通りである。

第1次調査 昭和56年5月31日～6月30日 第2次調査 昭和56年7月24日～9月7日

第3次調査 昭和57年3月24日～4月10日 第4次調査 昭和57年7月21日～9月10日

2、調査担当者は第1次調査～第4次調査まで住吉政浩（日本考古学协会会员）があたり、第4次調査の浪ノ上1号墳と稻荷山2号墳は伊藤恵（日本考古学协会会员）があたった。

調査員は小畠頼孝（豊橋遺跡調査会調査員）である。なお調査補助員として愛知大学考古学研究会・桜丘高等学校考古学研究会会員、作業員として地元有志の協力をえた。

3、浪ノ上1号墳の発掘調査には愛知県教育委員会から補助金を受け、昭和58（1983）年3月31日付けて『浪ノ上第1号墳調査概報』を作成し、愛知県教育委員会へ提出した。執筆・編集は調査担当者の伊藤恵が行った。

4、浪ノ上遺跡は昭和56年から昭和57年までに4次に及び発掘調査を行った。報告書は以下のように、2冊に分割して刊行することになった。

『浪ノ上　I』：位置と環境、調査の経過、A区の調査、B区の調査、C区の調査、D区の調査

『浪ノ上　II』：E区の調査、F区の調査、浪ノ上1号墳、稻荷山2号墳、科学的分析、考察、結語、付載　三菱レイヨン送還水管施設移設工事に伴う発掘調査

5、本書の作成にあたって、第1章・第2章の遺構・遺物の整理・実測・トレースは石川智江・井上佳子・岩本佳子・大川絵里・大谷孝代・小出豊・鈴木真弓・戸倉まり子・永持優子・補永亨代・正木希依子・三室昌代・安田明己・山口恵子・山本裕子・贊元洋（豊橋市美術博物館）・伊藤恵・小畠頼孝・住吉政浩・芳賀陽・森田勝三が行った。石器の実測は贊元洋氏（豊橋市美術博物館）に依頼したが、剥片の実測・観察は小畠頼孝が行った。第3章・第4章の遺構・遺物の整理・実測・トレースは、全て伊藤恵が行った

使用した写真のうち発掘調査の写真は伊藤恵・住吉政浩・小畠頼孝が、付載は森田勝三が撮影したものである。遺物の写真は小出豊・大谷孝世と伊藤恵・住吉政浩の協力をえて芳賀陽が撮影したものである。また付載の写真は森田勝三が撮影したものである。

6、石材の同定は家田健吾氏（豊橋市地下資源館）に依頼した。付載の同定は小島隆氏（日本考古学协会会员）に依頼した。

放射性炭素年代測定・方形周溝墓A—S Z 1 土壙埋土のリン・カルシウム分析・土器の胎土分析・浪ノ上1号墳出土土器の赤色顔料の分析は、株式会社パレオ・ラボに依頼し、分析結果は第5章に掲載した。

7、本書の執筆は以下のようである。なお編集は芳賀陽・伊藤恵・住吉政浩が行った。

第6章考察ならびに第7章結語については、芳賀陽・伊藤恵・住吉政浩・小畠頼孝・森田勝三の討議を踏まえて執筆責任者がまとめたものである。なお第6章第2節で用いた土器の実測図の多くは森田勝三によるものである。

第1章遺構・第2章遺構・第6章第3節……………住吉政浩

第1章遺物・第2章遺物・第6章第1節・第6章第2節……………小畠頼孝

第3章・第4章・第6章第4節・第7章……………伊藤 恵

第5章第1節……………パレオ・ラボ A M S 年代測定グループ 小林絢一・丹生越子・伊藤茂・山形秀樹・瀬谷薰・Zaur Lomticlze・Ineza Jorjoliani・中村賢太郎・廣田正史

第5章第2節……………パレオ・ラボ 藤根久・中村賢太郎

第5章第3節……………パレオ・ラボ 藤根久・米田恭子・中村賢太郎

第5章第4節……………パレオ・ラボ 前原弘展

付載……………森田勝三

8、付載は昭和55（1980）年、本調査前に行った三菱レイヨン送還水管施設移設工事に伴う発掘調査のまとめである。調査員であった小畠頼孝と森田勝三の討議を踏まえ森田勝三がまとめたものである。遺物の実測・作図・トレース・執筆はすべて森田勝三が行った。

9、本文中では、下記のような記号・略語・約束に基づいて記載した。

S B ……竪穴住居址、掘立柱建物址、竪穴状遺構 S D ……溝

S K ……土壙 S Z ……土壙墓、方形周溝墓、古墳

P ……柱穴、杭穴 貯 ……貯蔵穴

S F ……炉、炉穴 S S ……集石遺構

P 1 (○×○×○) ……柱穴 P 1 の（長径×短径×深さ）、一は数値不明

P 1 ~ P 2 ……柱穴間の長さ（柱穴の中心から柱穴の中心までの長さ）

遺物の実測図の縮尺は3分の1を基本とする。ただし、石器の大きなものは4分の1に、石器・鉄器の小さなものは2分の1に縮小し、実測図の遺物番号に（1/4）、（1/2）と明記した。

写真図版でA—①、B—②とあるのは、実測図がなく写真のみの遺物番号である。

10、本文中で用いた遺構番号・遺物番号は区・古墳ごとに通し番号を付し、挿図・遺物観察表・写真図版ともに共通である。

E …… E 区 N …… 浪ノ上 1 号墳 2 …… 付載 浪ノ上 遺跡 第 2 地区

F …… F 区 I …… 稲荷山 1 号墳 8 …… 付載 浪ノ上 遺跡 第 8 地区

11、発掘調査では久永春男氏、斎藤嘉彦氏からご教示・ご指導を頂いた。

12、本書に使用した実測図・写真・出土遺物は豊橋市教育委員会において保管・管理している。

本文目次

第1章 E区の調査	1
第1節 横穴住居址	1
第2節 土壌	43
第3節 方形周溝墓	55
第4節 近世土壌墓	59
第5節 ピット群	62
第6節 炉及び炉穴	63
第7節 集石遺構	67
第8節 遺物包含層	73
第2章 F区の調査	99
第1節 横穴住居址	99
第2節 土壌	112
第3節 遺物包含層	114
第3章 浪ノ上1号墳	121
第1節 さざなみ会による発掘調査	121
第2節 墳丘	124
第3節 周溝	139
第4節 土壌	149
第5節 埋葬主体部と副葬品の復原	150
第6節 封土下の横穴住居址	155
第7節 年代と性格	162
第4章 稲荷山2号墳	180
第1節 墳丘	180
第2節 周溝	184
第3節 埋葬主体部	186
第4節 封土下の横穴住居址	188
第5節 年代と性格	191
第5章 自然科学的分析	196
第1節 放射性炭素年代測定	196

第2節 方形周溝墓A－S Z 1 土壙内埋土のリン・カルシウム分析	200
第3節 土器の胎土材料	201
第4節 浪ノ上1号墳出土土器の赤色顔料分析	208
第6章 考察	211
第1節 浪ノ上遺跡出土の押型文土器と石器	211
第2節 浪ノ上遺跡出土の弥生式土器と古式土師器	217
第3節 浪ノ上遺跡の集落構成	235
第4節 東三河における方形周溝墓と方墳	246
第7章 結語	252
付載 三菱レイヨン株式会社送還水管施設移設工事に伴う発掘調査	288
第1節 位置と環境	288
第2節 調査にいたる経緯と経過	289
第3節 第2地区の遺構と遺物	293
第4節 第8地区の遺構と遺物	298
第5節 まとめ	317

挿 図 目 次

挿図第 1	E区全体における遺構の分布	2
挿図第 2	E区東地区における遺構の分布	3
挿図第 3	E区中央地区における遺構の分布	4
挿図第 4	E区西地区における遺構の分布	5
挿図第 5	竪穴住居址E-SB1実測図	6
挿図第 6	竪穴住居址E-SB2・E-SB3、土壙E-SK32・E-SK33、 近世土壙墓E-SZ4・E-SZ5・E-SZ9実測図	7
挿図第 7	竪穴住居址E-SB3・E-SB4、土壙E-SK32、 近世土壙墓E-SZ2～E-SZ8・E-SZ27・E-SZ34実測図	9
挿図第 8	竪穴住居址E-SB5・E-SB9、土壙E-SK36・SK44実測図	11
挿図第 9	竪穴住居址E-SB6・E-SB7、土壙E-SK35実測図	13
挿図第10	竪穴住居址E-SB7実測図	14
挿図第11	竪穴住居址E-SB8、土壙E-SK37・SK38、方形周溝墓E-SZ1 実測図	16
挿図第12	竪穴住居址E-SB10、近世土壙墓E-SZ30～E-SZ33実測図	18
挿図第13	竪穴住居址E-SB11、土壙E-SK31実測図	20
挿図第14	竪穴住居址E-SB12実測図	22
挿図第15	竪穴住居址E-SB13・E-SB14実測図	24
挿図第16	竪穴住居址E-SB14実測図	26
挿図第17	竪穴住居址E-SB15実測図	28
挿図第18	竪穴住居址E-SB16、土壙E-SK2～E-SK5・E-SK7・E-SK8 実測図	30
挿図第19	竪穴住居址E-SB17、土壙E-SK9・E-SK10・E-SK14・E-SK15 実測図	32
挿図第20	竪穴住居址E-SB18、土壙E-SK17～E-SK19実測図	34
挿図第21	E区西側崖面、トレンチ断面ポイントおよび集石遺構平面ポイント図	35
挿図第22	竪穴住居址E-SB17・E-SB18南側崖面（A-A'）断面図	36
挿図第23	竪穴住居址E-SB19西側崖面（B-B'）断面図	36
挿図第24	E区トレンチC-C'・D-D'・E-E'・F-F'断面図	37
挿図第25	竪穴住居址E-SB19、土壙E-SK1・E-SK20、炉穴E-SF実測図	39
挿図第26	土壙E-SK11・E-SK16・E-SK21・E-SK25・E-SK26・ E-SK46～E-SK49、炉穴E-SF4～E-SF6実測図	44
挿図第27	土壙E-SK27～E-SK30、炉穴E-SF10実測図	46

挿図第28	方形周溝墓E-S Z 1、土壙E-S K39~E-S K42実測図	56
挿図第29	土壙E-S K43、近世土壙墓E-S Z 5~E-S Z 29平面図	57
挿図第30	近世土壙墓E-S Z 9~E-S Z 11・E-S Z 14・E-S Z 16~E-S Z 22・ E-S Z 24~E-S Z 26・E-S Z 29断面図	58
挿図第31	ピット群および炉穴E-S F 7~E-S F 9、炉E-S F 1~E-S F 3実測図1	64
挿図第32	ピット群および炉穴E-S F 7~E-S F 9、炉E-S F 1~E-S F 3実測図2	65
挿図第33	集石遺構E-S S 1実測図	68
挿図第34	集石遺構E-S S 2実測図	70
挿図第35	集石遺構E-S S 3実測図	71
挿図第36	E区出土遺物実測図1 (E-S B 1・E-S B 2・E-S B 3・E-S B 5・ E-S B 6)	79
挿図第37	E区出土遺物実測図2 (E-S B 6~E-S B 11)	80
挿図第38	E区出土遺物実測図3 (E-S B 12~E-S B 14)	81
挿図第39	E区出土遺物実測図4 (E-S B 15・E-S B 16)	82
挿図第40	E区出土遺物実測図5 (E-S B 16)	83
挿図第41	E区出土遺物実測図6 (E-S B 16・E-S B 17・E-S K 8・E-S K 15)	84
挿図第42	E区出土遺物実測図7 (E-S B 18)	85
挿図第43	E区出土遺物実測図8 (E-S B 19)	86
挿図第44	E区出土遺物実測図9 (E-S B 19)	87
挿図第45	E区出土遺物実測図10 (E-S B 19床面)	88
挿図第46	E区出土遺物実測図11 (E-S K 1~E-S K 3・E-S K 20・E-S K 46)	89
挿図第47	E区出土遺物実測図12 (東部ピット、集石遺構内)	90
挿図第48	E区出土遺物実測図13 (集石遺構内)	91
挿図第49	E区出土遺物実測図14 (集石遺構内、E-4上層黒色有機土層)	92
挿図第50	E区出土遺物実測図15 (E-4黒色有機土層)	93
挿図第51	E区出土遺物実測図16 (E-4上層黒色有機土層、西側崖面、E-4表土層、 E-S K 1)	94
挿図第52	E区出土遺物実測図17 (E-S K 28・E-S K 37、E-S Z 4~E-S Z 7・ E-S Z 9・E-S Z 10・E-S Z 13・E-S Z 22・ E-S Z 26・E-S Z 27・E-S Z 31)	95
挿図第53	E区出土遺物実測図18 (E-1トレンチ・E-2トレンチ・E-4トレンチ)	96
挿図第54	E区出土遺物実測図19 (E-1・3黒色有機土層)	97
挿図第55	E区出土遺物実測図20 (E-2黒色有機土層、E-1~E-4表土層)	98
挿図第56	F区全体における遺構の分布と稻荷山2号墳	100
挿図第57	F区の東地区と西地区における遺構の分布	101
挿図第58	竪穴住居址F-S B 1、土壙F-S K 3・F-S K 4実測図	102

挿図第59	竪穴住居址F-SB2・F-SB3実測図挿図	104
挿図第60	竪穴住居址F-SB4実測図	106
挿図第61	竪穴住居址F-SB5・F-SB6、土壌F-SK5実測図	108
挿図第62	竪穴住居址F-SB7・F-SB8実測図	110
挿図第63	土壌F-SK1・F-SK2実測図	113
挿図第64	F区出土遺物実測図1(F-SB1～F-SB4)	116
挿図第65	F区出土遺物実測図2(F-SB5～F-SB7・F-SK5)	117
挿図第66	F区出土遺物実測図3(F-SB8)	118
挿図第67	F区出土遺物実測図4(F-SK1～F-SK4)	119
挿図第68	F区出土遺物実測図5(黒色有機土層・表土層)	120
挿図第69	さざなみ会による発掘調査	121
挿図第70	さざなみ会の「浪の上遺蹟発掘日誌」	122
挿図第71	素環頭鉄劍	123
挿図第72	浪ノ上1号墳の墳丘および周溝実測図	126～127
挿図第73	昭和25年調査の第1竪穴住居址発掘区の層序および土壌N-SK1・N-SK2 実測図	128
挿図第74	昭和25年調査の中央トレンチの層序	130
挿図第75	北トレンチ・東トレンチの層序	132
挿図第76	北東トレンチ・北西トレンチ・南西トレンチの層序	135
挿図第77	墳丘構築の工程図	137
挿図第78	南東周溝2区下層遺物の出土状況	140
挿図第79	南西周溝1区下層遺物の出土状況	142
挿図第80	昭和25年発掘当時の実測図	151
挿図第81	第1遺蹟略図	152
挿図第82	埋葬主体部の復原図	153
挿図第83	竪穴住居址N-SB1実測図	157
挿図第84	竪穴住居址N-SB2実測図	160
挿図第85	高坏A類・B類・C類および主な他器種の出土地点	163
挿図第86	南東周溝1区出土遺物実測図1	166
挿図第87	南東周溝1区出土遺物実測図2および南東周溝2区出土遺物実測図1	167
挿図第88	南東周溝2区出土遺物実測図2	168
挿図第89	南東周溝2区出土遺物実測図3	169
挿図第90	南東周溝2区出土遺物実測図4	170
挿図第91	南東周溝2区出土遺物実測図5および南東周溝2区と南西周溝1区併出土遺物 実測図	171
挿図第92	南西周溝1区出土遺物実測図1	172

挿図第93	南西周溝1区出土遺物実測図2	173
挿図第94	南西周溝1区出土遺物実測図3	174
挿図第95	南西周溝1区出土遺物実測図4および南西周溝2区出土遺物実測図	175
挿図第96	土壤N-S K1、北東トレンチ、北西周溝、北東周溝出土遺物実測図	176
挿図第97	東トレンチ、北東トレンチ、東トレンチと北東トレンチの間、墳丘南東部および表採遺物実測図	177
挿図第98	中央トレンチ、竪穴住居址N-S B1出土遺物実測図	178
挿図第99	竪穴住居址N-S B2出土遺物実測図	179
挿図第100	稻荷山2号墳の墳丘および周溝実測図	181
挿図第101	稻荷山2号墳のトレンチおよび遺構位置図	183
挿図第102	稻荷山2号墳トレンチ断面図	185
挿図第103	土壤I-S Z1・I-S Z2実測図	187
挿図第104	竪穴住居址I-S B1実測図	189
挿図第105	竪穴住居址I-S B2実測図	190
挿図第106	土壤I-S Z1・I-S Z2、第3トレンチ、第5トレンチ、周溝南東部、墳丘東部出土遺物実測図	193
挿図第107	竪穴住居址I-S B1・I-S B2出土遺物実測図	194
挿図第108	竪穴住居址I-S B1、周溝南東部出土遺物実測図	195
挿図第109	暦年較正結果	199
挿図第110	豊川中・下流域の地質図	207
挿図第111	回転押型文の意匠	212
挿図第112	回転押型文の原体の復元	213
挿図第113	回転押型文様の乱れ	214
挿図第114	切断形剥片刃器	215
挿図第115	長床式土器1	218
挿図第116	長床式土器2	219
挿図第117	寄道式土器	220
挿図第118	欠山式土器	221
挿図第119	前川式土器1	222
挿図第120	前川式土器2	223
挿図第121	前川式土器3	224
挿図第122	王江式土器1	226
挿図第123	王江式土器2	227
挿図第124	王江式土器3	228
挿図第125	浪ノ上式土器1	230
挿図第126	浪ノ上式土器2	231

挿図第127 青山式土器	232
挿図第128 古墳時代後期	233
挿図第129 浪ノ上遺跡における竪穴住居址の分布 1	239
挿図第130 浪ノ上遺跡における竪穴住居址の分布 2	240
挿図第131 浪ノ上遺跡における竪穴住居址の分布 3	241
挿図第132 浪ノ上遺跡の竪穴住居址平面形の変遷	243
挿図第133 東三河における方形周溝墓 1	248
挿図第134 東三河における方形周溝墓 2	249
挿図第135 東三河における方形周溝墓 3 及び方墳の周溝（部分）	250
付挿図第1 浪ノ上遺跡第2地区・第8地区位置図	288
付挿図第2 浪ノ上遺跡第2地区・第8地区地形図	289
付挿図第3 第2地区・第8地区全体図	292
付挿図第4 第2地区 道路西側壁面・調査区断面図	294
付挿図第5 第2地区 2-SB1平面・断面図	296
付挿図第6 第8地区 調査区全体面	299
付挿図第7 第8地区 調査区遺構断面図	300
付挿図第8 第8地区 8-SB1・8-SK1・8-SK2平面・断面図	303
付挿図第9 第8地区 8-SB2・8-SK3・8-SK4平面・断面図	307
付挿図第10 第8地区 8-SK5・8-SK6・8-SK7・8-SD1、 8-P4～8-P12平面・断面図	308
付挿図第11 第8地区 8-SZ1・8-SZ2平面・断面図	312
付挿図第12 第2地区出土 土器・土師器・須恵器実測図1	320
付挿図第13 第8地区出土 土器・土師器実測図1	320
付挿図第14 第8地区出土 土器・土師器実測図2	321
付挿図第15 第8地区出土 土器・土師器実測図3	322
付挿図第16 第8地区出土 土器・土師器実測図4	323
付挿図第17 第8地区出土 土器・土師器・須恵器実測図	324
付挿図第18 第8地区出土 石器実測図1	324
付挿図第19 第8地区出土 石器実測図2	325

表 目 次

表第1	豎穴住居址E-SB11 小ピット法量一覧表	21
表第2	豎穴住居址E-SB12 小ピット法量一覧表	23
表第3	豎穴住居址E-SB19 柱穴ならびに小ピット法量一覧表	40
表第4	押型文の平面形および断面形分類表	41
表第5	E区 近世土壙墓法量一覧表	59
表第6	E区 近世土壙墓長軸方位集計表	60
表第7	E区 ピット群法量一覧表	63
表第8	測定資料及び処理	196
表第9	放射性炭素年代測定及び暦年較正の結果	197
表第10	土壙内埋土資料とその特徴	200
表第11	リン濃度の高い位置における点分析結果	201
表第12	胎土材料を検討した土師器とその特徴	202
表第13	土器胎土および粘土塊中の粘土および砂粒の特徴	206
表第14	土器胎土および粘土塊中の岩石片と組み合わせ	206
表第15	分析対象資料	209
表第16	浪ノ上遺跡豎穴住居址・掘立柱建物址一覧表	236
表第17	豎穴住居址平面形分類表	238
表第18	東三河の方形周溝墓地名表	247
表第19	浪ノ上遺跡発掘調査の概要	252
表第20	浪ノ上遺跡E区出土 土器観察表	254
表第21	浪ノ上遺跡E区出土 押型文土器観察表	260
表第22	浪ノ上遺跡E区出土 石器等観察表	268
表第23	浪ノ上遺跡F区出土 土器観察表	270
表第24	浪ノ上遺跡F区出土 石器等観察表	272
表第25	浪ノ上1号墳及び封土下の豎穴住居址出土 土器観察表	274
表第26	浪ノ上1号墳及び封土下の豎穴住居址出土 石器等観察表	284
表第27	稻荷山2号墳及び封土下の豎穴住居址出土 土器観察表	286
表第28	稻荷山2号墳及び封土下の豎穴住居址出土 石器等観察表	286
付表第1	第2地区 豊穴住居址柱穴計測値表	297
付表第2	第8地区 柱穴計測値表	310
付表第3	第8地区 土壙一覧表	318
付表第4	第2地点 土器観察表	326
付表第5	第8地点 土器観察表	326
付表第6	第8地点 石器観察表	330

図版目次

卷頭図版

- 卷頭図版第1 E区(1) 1、西地区全景 (西から)
卷頭図版第2 E区(2) 1、竪穴住居址E-SB19と土壙 (北西から)
2、竪穴住居址E-SB19と集石遺構 (南から)
卷頭図版第3 E区(3) 1、東地区竪穴住居址群と方形周溝墓E-SZ1、土壙、
近世土壙墓 (西上空から)
2、竪穴住居址E-SB10と近世土壙墓E-SZ30~SZ33
(西上空から)
卷頭図版第4 F区 1、F-45-1 2、F-45-1 3、F-45-1
4、F-45-7 5、F-45-4 6、F-75
卷頭図版第5 浪ノ上1号墳(1) 1、浪ノ上1号墳 (南上空から)
2、浪ノ上1号墳 (南東上空から)
卷頭図版第6 浪ノ上1号墳(2) 1、浪ノ上1号墳封土下N-SB1 (北東から)
2、浪ノ上1号墳封土下N-SB2 (南から)
卷頭図版第7 浪ノ上1号墳(3) 1、浪ノ上1号墳出土広口壺N-146
2、浪ノ上1号墳パレス壺N-125
卷頭図版第8 稲荷山2号墳 1、稻荷山2号墳 (南から)
2、稻荷山2号墳I-SZ1 (南西から)

写真図版

- 図版第1 E区(1) 1、E区遠景 (南から)
2、東地区住居址群 (北西から)
図版第2 E区(2) 1、竪穴住居址E-SB10周辺の状況 (西上空から)
2、竪穴住居址E-SB10 (西上空から)
図版第3 E区(3) 1、竪穴住居址E-SB1 (南から)
2、方形周溝墓E-SZ1と切り合っている竪穴住居址E-SB6・
E-SB8 (東から)
図版第4 E区(4) 1、竪穴住居址E-SB13・E-SB14とE-SB12 (東から)
2、竪穴住居址E-SB13を切っているE-SB14 (北東から)
図版第5 E区(5) 1、竪穴住居址E-SB13・E-SB14と土壙E-SK22~E-SK24
(南東上空から)
2、竪穴住居址E-SB14 (東から)

- 図版第6 E区 (6) 1、竪穴住居址E-SB16と土壙E-SK2～E-SK8 (東上空から)
2、竪穴住居址E-SB17 (北から)
- 図版第7 E区 (7) 1、竪穴住居址E-SB19の遠景 (西から)
2、竪穴住居址E-SB19 (北から)
- 図版第8 E区 (8) 1、竪穴住居址E-SB19と集石遺構 (西から)
2、集石遺構と竪穴住居址E-SB19 (南から)
- 図版第9 E区 (9) 1、竪穴住居址E-SB19と炉穴E-SF5・E-SF6 (西から)
2、竪穴住居址の存在が窺われるピット群 (南西から)
- 図版第10 E区 (10) 1、押型文土器の出土状態1
2、竪穴住居址E-SB18の床面から検出された台石の出土状態
- 図版第11 E区 (11) 1、押型文土器の出土状態2
2、押型文土器の出土状態3
- 図版第12 E区 (12) 1、E区における遺物の出土状態1
2、E区における遺物の出土状態2
- 図版第13 E区 (13) 1、E区における遺物の出土状態3
2、E区における遺物の出土状態4
- 図版第14 E区 (14) 1、E-18 2、E-19 3、E-25 4、E-28 5、E-49
6、E-50 7、E-54 8、E-55
- 図版第15 E区 (15) 1、E-56 2、E-57 3、E-58 4、E-59 5、E-61
6、E-63 7、E-66
- 図版第16 E区 (16) 1、E-67 2、E-68 3、E-73 4、E-74 5、E-80
6、E-81 7、E-82 8、E-84
- 図版第17 E区 (17) 1、E-95 2、E-98 3、E-100 4、E-108 5、E-109
6、E-114 7、E-116 8、E-117
- 図版第18 E区 (18) 1、E-122 2、E-123 3、E-124 4、E-125 5、E-126
6、E-127 7、E-130
- 図版第19 E区 (19) 1、E-132 2、E-135 3、E-137 4、E-138 5、E-139
6、E-154 7、E-155 8、E-157
- 図版第20 E区 (20) 1、E-158 2、E-171 3、E-173 4、E-175 5、E-177
6、E-179 7、E-182 8、E-183
- 図版第21 E区 (21) 1、E-192 2、E-193 3、E-195 4、E-196 5、E-202
6、E-216 7、E-217 8、E-219 9、E-220 10、E-223
- 図版第22 E区 (22) 1、E-224 2、E-227 3、E-229 4、E-235 5、E-236
6、E-237 7、E-239 8、E-240 9、E-242
- 図版第23 E区 (23) 1、E-243 2、E-245 3、E-246 4、E-250 5、E-251
6、E-252
- 図版第24 E区 (24) 1、E-256 2、E-255 3、E-261 4、E-262 5、E-263

		6、E-266	7、E-267			
図版第25	E区(25)	1、E-264	2、E-268	3、E-269	4、E-270	5、E-272
		6、E-273	7、E-297	8、E-301		
図版第26	E区(26)	1、E-302	2、E-305	3、E-306	4、E-308	5、E-309
		6、E-312				
図版第27	E区(27)	1、E-313	2、E-314	3、E-315	4、E-316	5、E-319
		6、E-321	7、E-323			
図版第28	E区(28)	1、E-329	2、E-330	3、E-331	4、E-332	5、E-333
		6、E-336	7、E-342	8、E-347		
図版第29	E区(29)	1、E-354	2、E-356	3、E-358	4、E-359	5、E-360
		6、E-365	7、E-368			
図版第30	E区(30)	1、E-379	2、E-380	3、E-384	4、E-401	5、E-403
		6、E-409	7、E-414	8、E-423		
図版第31	E区(31)	1、E-420	2、E-435	3、E-36	4、E-45	5、E-87
		6、E-88				
図版第32	E区(32)	1、E-89	2、E-105	3、E-107	4、E-204	5、E-206
		6、E-214				
図版第33	E区(33)	1、E-241	2、E-281	3、E-291	4、E-292	5、E-293
		6、E-294				
図版第34	E区(34)	1、E-295	2、E-296	3、E-373	4、E-374	5、E-①
図版第35	E区(35)	1、E-②	2、E-③	3、E-④		
図版第36	E区(36)	1、E-86	2、E-106	3、E-203	4、E-205	5、E-207
		6、E-208	7、E-209	8、E-210	9、E-211	10、E-212
		11、E-213	12、E-232			
図版第37	E区(37)	1、E-233	2、E-247	3、E-248	4、E-276	5、E-277
		6、E-278	7、E-279	8、E-282	9、E-283	10、E-284
		11、E-285	12、E-286			
図版第38	E区(38)	1、E-287	2、E-288	3、E-289	4、E-324	5、E-326
		6、E-361	7、E-362	8、E-363	9、E-364	10、E-370
		11、E-372	12、E-393			
図版第39	F区(1)	1、竪穴住居址F-SB1(東から)				
		2、竪穴住居址F-SB2・F-SB3(東から)				
図版第40	F区(2)	1、竪穴住居址F-SB2・F-SB3(南東から)				
		2、竪穴住居址F-SB2・F-SB3(北から)				
図版第41	F区(3)	1、竪穴住居址F-SB7・F-SB8(北西から)				
		2、竪穴住居址F-SB4(南から)				
図版第42	F区(4)	1、竪穴住居址F-SB5・F-SB6(北西から)				

- 2、土壙F-SK1・F-SK2（東から）
- 図版第43 F区（5） 1、竪穴住居址F-SB6における遺物の出土状態
2、土壙F-SK1における遺物の出土状態（東から）
- 図版第44 F区（6） 1、F-5 2、F-8 3、F-12 4、F-19 5、F-22
6、F-23
- 図版第45 F区（7） 1、F-30 2、F-32 3、F-35 4、F-36 5、F-37
6、F-43
- 図版第46 F区（8） 1、F-45-1 2、F-49 3、F-53 4、F-54 5、F-58
- 図版第47 F区（9） 1、F-28 2、F-78 3、F-29 4、F-① 5、F-②
- 図版第48 浪ノ上1号墳（1） 1、調査前の墳丘（東から）
2、調査前の墳丘（北東から）
- 図版第49 浪ノ上1号墳（2） 1、墳丘の測量風景（南西から）
2、墳丘の測量風景（南から）
- 図版第50 浪ノ上1号墳（3） 1、昭和25年発掘後埋め戻された竪穴住居址（N-SB1）の再発掘
2、間壁を残し埋土を除いた竪穴住居址（N-SB1）
- 図版第51 浪ノ上1号墳（4） 1、完掘された竪穴住居址N-SB1（南上方から）
2、竪穴住居址N-SB1（北東から）
- 図版第52 浪ノ上1号墳（5） 1、竪穴住居址N-SB2（南から）
2、竪穴住居址N-SB2と竪穴住居址N-SB1（左上方）
- 図版第53 浪ノ上1号墳（6） 1、土壙N-SK1の断面
2、土壙N-SK1の残存部分の完掘
- 図版第54 浪ノ上1号墳（7） 1、土壙N-SK2の断面
2、土壙N-SK2の残存部分の完掘
- 図版第55 浪ノ上1号墳（8） 1、周溝発掘前の墳丘（南西から）
2、周溝発掘後の墳丘と周溝（南西から）
- 図版第56 浪ノ上1号墳（9） 1、周溝発掘後、南方上空からみた浪ノ上1号墳
2、降雨後、雨水の溜まった南西周溝（左）と南東周溝（右）
- 図版第57 浪ノ上1号墳（10） 1、北西周溝（左）と南西周溝（右）の間の陸橋部分（西から）
2、南上空からみた墳丘・周溝・竪穴住居址N-SB1・中央トレンチ
- 図版第58 浪ノ上1号墳（11） 1、南東周溝と南西周溝の間の陸橋部分（南南西から）
2、北西周溝と北東周溝の間の陸橋部分（南から）
- 図版第59 浪ノ上1号墳（12） 1、東トレンチ（南壁）の断面
2、北西トレンチ（南壁）の断面
- 図版第60 浪ノ上1号墳（13） 1、昭和25年発掘区の墳丘断面（北部から東部）
2、昭和25年発掘区の墳丘断面（北部から西部）

- 3、昭和25年発掘区の墳丘断面（南部）
- 図版第61 浪ノ上1号墳（14）
1、中央トレンチ北側（東壁）の断面
2、中央トレンチ南側（東壁）の断面
- 図版第62 浪ノ上1号墳（15）
1、南東周溝2区出土の高坏（74）
2、南西周溝1区出土の甕（126）
- 図版第63 浪ノ上1号墳（16）
1、南東周溝2区出土の高坏の坏部（75）・碗（71）・器台脚部（45）
2、南東周溝2区出土の碗（71）・器台脚部（45）
- 図版第64 浪ノ上1号墳（17）
1、南東周溝2区の遺物出土状態
2、南西周溝1区の遺物出土状態
- 図版第65 浪ノ上1号墳（18）
1、南西周溝2区出土の甕（160）
2、墳丘東部出土の甕（208）
- 図版第66 浪ノ上1号墳（19）
南東周溝1区出土遺物
- 図版第67 浪ノ上1号墳（20）
南東周溝1区・2区出土遺物
- 図版第68 浪ノ上1号墳（21）
南東周溝2区出土遺物
- 図版第69 浪ノ上1号墳（22）
南東周溝2区出土遺物
- 図版第70 浪ノ上1号墳（23）
南東周溝2区・南西周溝1区出土遺物
- 図版第71 浪ノ上1号墳（24）
南西周溝1区出土遺物
- 図版第72 浪ノ上1号墳（25）
南西周溝1区出土遺物
- 図版第73 浪ノ上1号墳（26）
南西周溝1区出土遺物
- 図版第74 浪ノ上1号墳（27）
南西周溝1区・2区等出土遺物
- 図版第75 浪ノ上1号墳（28）
封土下竪穴住居址出土遺物
- 図版第76 稲荷山2号墳（1）
1、発掘前の墳丘
2、保存されることが確定した竹藪の中の稻荷山1号墳
- 図版第77 稲荷山2号墳（2）
1、墳丘遠景（南から）
2、墳丘近景（南から）
- 図版第78 稲荷山2号墳（3）
1、I-SZ1土壤（右）と土壤I-SZ2（左）（南から）
2、I-SZ2土壤（南西から）
- 図版第79 稲荷山2号墳（4）
1、土壤I-SZ1（南から）
2、土壤I-SZ1の遺物出土状態
- 図版第80 稲荷山2号墳（5）
1、封土下の竪穴住居址I-SB1
2、封土下の竪穴住居址I-SB2
- 図版第81 稲荷山2号墳（6）
稻荷山2号墳出土遺物および封土下竪穴住居址出土遺物
- 図版第82 浪ノ上1号墳出土土器付着顔料分析No.1
- 図版第83 浪ノ上1号墳出土土器付着顔料分析No.2
- 図版第84 方形周溝墓A-SZ1の土壤埋土プレス資料の元素マッピング図
- 図版第85 土器胎土の偏光顕微鏡写真

- 付図版第1 第2地区 1、調査区を北方の沖積地から見る
2、道路西側壁面断面図作成の状況（東北から）
- 付図版第2 第2地区 1、2-SB1の完掘状況（西から）
2、2-SB1の完掘状況（東から）
- 付図版第3 第8地区 1、第8地区とA区の調査前状況（南から）
2、第8地区とB区の調査前状況（北から）
- 付図版第4 第8地区 1、送還水管施設移設工事の状況（西から）
2、調査の状況 左手前の背中姿は久永春男先生（西から）
- 付図版第5 第8地区 1、調査区遺構全景（西から）
- 付図版第6 第8地区 1、8-SB1、8-SK1・8-SK2（南から）
2、8-SB2、8-SK3・8-SK4（南から）
- 付図版第7 第8地区 1、8-SK7、8-SD1（西から）
2、8-SB1遺物の出土状況
- 付図版第8 第8地区 1、8-SZ1（東から）
2、8-SZ1主体部（北東から）
- 付図版第9 第8地区 1、8-SZ1北周溝と8-SZ2南周溝断面（東から）
2、8-SZ1西周溝断面（南から）
- 付図版第10 第8地区 1、8-SZ1北周溝遺物の出土状況（西から）
2、8-SZ1東周溝遺物の出土状況（東から）
- 付図版第11 第8地区 1、8-SZ2北周溝と西周溝（南西から）
2、8-SZ2西周溝断面（南東から）
- 付図版第12 第8地区 第8地区出土土器（1）
- 付図版第13 第8地区 第8地区出土土器（2）
- 付図版第14 第8地区 第8地区出土土器（3）
- 付図版第15 第8地区 第8地区出土土器（4）・石器